



平成 24 年 2 月 10 日

各 位

株 式 会 社 マ ク ロ ミ ル
代表取締役会長兼社長 杉本哲哉
(コード番号：3730 東証一部)
問合せ先：上席執行役員 CFO 木原康博
電話番号：(03) 6716-0700 (代表)

韓国法人 EMBRAIN CO., LTD.の株式の取得および第三者割当増資引受け (子会社化) に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 2 月 10 日開催の取締役会において、以下のとおり、EMBRAIN CO.,LTD. (以下、「エムブレイン」) の株式の取得および第三者割当増資引受けを通じて同社株式の 51%を取得し、子会社化することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 株式の取得の理由

1) 背景

当社グループは昨年 8 月に中期経営計画を発表し、これと同時に転換社債の発行による 50 億円の資金調達を行いました。平成 26 年度連結売上高 200 億円の実現を目指し、国内既存事業の強化はもちろんのこと、海外展開や新規事業の創出を、M&A や業務提携なども組み合わせながら積極的に推進しています。

海外においては、アジア各国を主としたリサーチ基盤の構築を重要な経営課題と認識しており、平成 20 年には韓国に持分法適用会社を設立、平成 23 年には中国に連結子会社を設立するなどさまざまな施策を進めてきたものの、もう一段踏み込んだ非連続の成長を模索していました。

2) エムブレインについて

エムブレインは平成 10 年に韓国ソウルに設立された総合リサーチ企業で、韓国のネットリサーチ市場においては最大のシェアを獲得しているリーディングカンパニーです。(平成 22 年売上高比較、KORA (Korea Research Association) 調査より)

同社の主な強みとしては「信頼性の高いアンケートパネル」「ユニークなソリューション」「クオリティコントロールノウハウ」が挙げられます。東北アジアのアンケートパネルを独自に構築・運営しており、韓国に 64 万人を有しているほか、中国と台湾においても、子会社を通じてそれぞれ 55 万人、15 万人を抱えるなど、パネルネットワークにも強みを持っています。

3) 期待される効果

韓国はインターネットの普及が進んでいる一方、マーケティングリサーチに占めるインターネット調査の比率は平成 22 年実績で 16%と、世界平均の 22%と比較しても低い水準に留まっています。(平成 23 年度 ESOMAR 調査より)

市場拡大のためには、ネットリサーチの品質に対する誤解を払拭し、顧客からの信頼を勝ち取ってゆく必要があります。韓国市場、顧客を熟知し、既に実績を積んでいるエムブレインの知見やブランド力と、当社のネットリサーチ事業拡大におけるシステム・営業ノウハウや資金力を相乗させることで、韓国市場におけるネットリサーチの認知度、信頼度向上が一段速いスピードで実現でき、

当社グループの海外における業績拡大に寄与すると考えています。

また、エムブレインの保有するパネルを活用すれば、海外リサーチをおこなう際の外注費削減効果も期待できます。

韓国ネットリサーチ市場におけるリーディングカンパニーであるエムブレインを子会社化することで、韓国における事業基盤を確実にし、中国・韓国をはじめとするアジア各国を中心とした海外事業展開を加速させてまいります。

2. 株式取得の方法

当社は、本日締結を決議しました株式譲渡契約およびエムブレインにおいて決議された第三者割当増資により、エムブレインの発行済株式の51.0%を取得することを予定しています。

3. 異動する子会社（EMBRAIN CO.,LTD.）の概要 （平成23年12月末日時点）

(1) 名 称	EMBRAIN CO.,LTD.			
(2) 所 在 地	12 th Fl, Tower 837 Bldg, 837, Yeoksamdong, Gangnam-gu, Seoul Korea			
(3) 代表者の役職・氏名	CEO/Chairman チェ・インス			
(4) 事 業 内 容	1. リサーチ及びコンサルティング 2. オンライン広告及びソフトウェア開発業 3. サイバーショッピング 4. データベース事業 5. 学術研究役務 6. 上記各号に関連する付帯事業の一切			
(5) 資 本 金	10億ウォン			
(6) 設 立 年 月 日	平成10年10月			
(7) 大株主及び持株比率	チェ・インス 34.3% キム・ユドン 7.4% キム・テホン 6.8% 株式会社ビリングアンドネットワークソリューションズ 5.1% 株式会社イマジン 5.0% その他 41.4%			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社との関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。		
	人 的 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社との関係者及び関係会社の間には、特筆すべき人的関係はありません。		
	取 引 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社との関係者及び関係会社の間には、特筆すべき取引関係はありません。		
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態	単位:上段 千ウォン、下段 百万円			
	決算期	平成20年12期	平成21年12期	平成22年12期
純 資 産		2,201,419 154	2,588,686 181	3,340,046 233
総 資 産		6,947,034	9,197,704	10,413,054

	486	643	728
1株当たり純資産	2,201 ウォン 154 円	2,588 ウォン 181 円	3,340 ウォン 233 円
売上高	10,140,978 709	11,168,867 781	12,279,475 859
営業利益	249,408 17	1,050,704 73	1,238,407 86
経常利益	289,812 20	544,479 38	942,613 65
当期純利益	289,812 20	387,266 27	751,359 52
1株当たり当期純利益	289 ウォン 20 円	387 ウォン 27 円	751 ウォン 52 円
1株当たり配当金	—	—	—

※1ウォン=0.07円にて換算

4. 株式取得の相手先の概要

(1) 氏名	チェ・インス
(2) 住所	韓国
(3) 上場会社と当該個人の関係	当社と当該個人（その近親者、当該個人及びその近親者が過半数所有している会社等並びにその子会社を含む。）との間には、記載すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該個人並びに当該個人の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません。

※上記株主を通じ、426,259株を取得予定です。

5. エムブレインの第三者割当増資の概要

(1) 払込期日	平成24年2月29日（予定）
(2) 発行新株式数	170,900株
(3) 発行価額	1株当たり 11,700ウォン（819円）
(4) 調達資金の額	1,999,530,000ウォン（139,967,100円）
(5) 募集又は割当方法	第三者割当の方法
(6) 割当先及び割当株式数	株式会社マクロミル 170,900株

※1ウォン=0.07円にて換算

※このたびの第三者割当増資により、エムブレインの資本金は2,999百万ウォン（209百万円）となります。

6. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数：0個) (所有割合：0%)
(2) 取得株式数	597,159株 (議決権の数：597,159個) (発行済株式数に対する割合：51.0%) (取得価額：9,326百万ウォン（652百万円）)
(3) 異動後の所有株式数	597,159株 (議決権の数：597,159個) (所有割合：51.0%)

7. 日 程

(1) 取締役会決議	平成 24 年 2 月 10 日
(2) 株券引渡期日	平成 24 年 2 月 29 日 (予定)
(3) 第三者割当による新 株式発行の払込期日	平成 24 年 2 月 29 日 (予定)

8. 今後の見通し

本取引によりエムブレインは、当社の連結子会社となります。当社平成 24 年 6 月期連結業績へ与える影響は軽微ですが、平成 25 年 6 月期連結業績においては売上高 11 億円、経常利益 1 億円程度の寄与を想定しております。今後韓国におけるネットリサーチの普及およびマクロミルグループの業績向上を目指し、両社で協働してまいります。

以 上

(参考) 当期連結業績予想 (平成 23 年 8 月 3 日公表分) 及び前期連結実績

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益
当期連結業績予想 (平成 24 年 6 月期)	14,200 百万円	2,900 百万円	2,900 百万円	1,500 百万円
前期連結実績 (平成 23 年 6 月期)	12,210 百万円	2,604 百万円	2,522 百万円	1,171 百万円